


山番号	山名 (別名)	魚沼駒ヶ岳	登頂順	標高M
25	越後駒ヶ岳		82/100	2,003
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋	
2010.7.10 平成22年		64	奥只見銀山平池 「湖山荘」2泊	
メンバー	主催	毎日新聞旅行		
単独	複数	ガイド	人数	リーダー
			男11 女13	稲田氏、長尾さん
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	7/11の平ヶ岳へ	
コース タイム	7/10枝折峠5:26⇒8:17小倉山⇒10:59頂上11:24 ⇒16:15枝折峠<歩程10:45 標高差938m>			
交通手段	往路:7/9JRで越後湯沢 ⇒バス16:53湖山荘泊	現地:	復路:	
日程				
朝から泣きたくなるような雨、小屋に停滞したいところだがそこがツアーの悲しさ、只ただ登って下った。明日の平ヶ岳の足馴らしにはなったか。救いは「湖山荘」が快適な真新しいログハウス、料理も素晴らしかった。				

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
26	平ヶ岳	83/100	2,141
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2010.7.11 平成22年		64	奥只見銀山平池 「湖山荘」2泊
メンバー	主催	毎日新聞旅行	
単独	複数	ガイド	人数
			24
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	7/10の越後駒ヶ岳より
コース タイム	4:50登山口⇒8:50頂上8:55⇒11:30 登山口<歩程8:05 標高差1,301m>		
交通手段	往路:	現地:	復路:8/11銀山平から バス、越後湯沢からJR
深夜3:20「湖山荘」から林道を歩いて1時間半で登山口に着了。川を渡ってからいきなりの急登。殆どが尾根歩きで雨や窪みのぬかるみ続き、ストックが助けになった。2本使いに転向したのは、梅津ガイドの薦めでLEKI社製を購入してから、その後ずーっと使っている。靴は何度か新調したがストックは山道具で一番長持ちしている。歩行の補助ばかりではなく、休憩時のザックの下支え、救助用具、叩いて熊除けの音を出したり、蛇払い等にも役立ってきた。何回か途中で忘れて来てもちゃんと手元に還って来た。曇り空も頂上では小雨、景色は見えず5分だけ休んですぐ下山を開始した。			


山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
27	巻機山	87/100	1,967
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2010.10.16 平成22年		64	10/15清水「上田屋」
メンバー	主催	アルパインツアー	
単独	複数	ガイド	人数
			男4 女11
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	10/19の両神山へ
コース タイム	登山口4:40⇒10:40山頂11:15⇒14:38登山口 <歩程10:00 標高差1,377m>		
交通手段	往路:10/14JRで東京 10/15新宿からバス	現地:	復路:10/16バス新宿で 解散、府中へ
今回は勤め人時代は叶われない7日間の長旅となった。東京発のツアー2つに参加、母の白寿祝いをしたり、次兄の墓参りもできた。加えてツアーの前夜は昨年の薬師岳を登った時の有志達とも新宿で再会できた。初日は雨の中八海山に足馴らしに登った。2日目の巻機山は標高差1,377mのきついピストンだった。多くが腰や膝、足に何らかの症状を持っていて、それぞれ独自の対処をしていた。私は圧縮タイツとサポーターで膝を保護している。幌尻岳登山の時の青年ポーターは両足の爪の血豆を手当しないままで見えた。もはや職業病だ。			

山番号	山名 (別名) 燧岳	登頂順	標高M
28	燧ヶ岳	34/100	2,356
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1999.6.20 平成11年		53	6/19第一長蔵小屋 6/20第二長蔵小屋
メンバー	6名 松下混声合唱団5名(男: 石橋、武村氏、女:内田、 末武、吉川さん)	6/18三島、ライフケア泊、 6/19上毛高原駅で合流 6/21尾瀬ヶ原⇒鳩待峠経 由帰宅	
単独	複数	ガイド	ツアー
コース タイム	第一長蔵小屋8:25⇒13:10山頂13:25⇒17:45第二長蔵 小屋 <歩程9:20 標高差946m>		
交通手段	往路:6/18 JR 現地:6/19 バス 復路:6/21JR 6/19 JR 6/21 バス		

同僚石橋氏が所属の松下混声合唱団員6名と登った。自然観察に度々行っている仲間だが山に不慣れなメンバーが居て、雨で足元も





悪く第二長蔵小屋に着いたのが6時前になった。食後は場所柄コーラスとはならなかったが個室で楽しい雑談で過ごした。翌日は尾瀬ヶ原の植物観察を楽しんで鳩待峠に抜けたが、広い尾瀬ヶ原で一緒に歌わせてもらえば良かった。折角ハーモニカを持参したのに…。何処かの山頂で独りオカリナを吹いているガイドが居たっけ。

山番号	山名 (別名) 至仏山	登頂順	標高M
29	至仏山	47/100	2,228
登頂年月日	山頂天候	年齢	尾瀬ヶ原は4回歩いている。家内とも尾瀬沼から鳩待峠まで歩いているが、いつも初夏から夏にかけてだ。遠くに見えたニコウキスゲの群落が近付いたら遠足の園児達の帽子だったこともあった。次は湿原を彩る草紅葉の時期にしよう。
2001.7.8 平成13年		55	
メンバー	7/7国立、府中に寄ってから高崎泊	7/8至仏に登って帰る。	
単独	複数	ガイド	ツアー
コース タイム	鳩待峠9:35⇒12:03頂上12:40⇒ 14:26鳩待峠<歩程4:51 標高差828m>		

尾瀬ヶ原を挟むように鎮座する燧ヶ岳と至仏山。2年前登った燧ヶ岳が見た目より雄々しく感じたので、なだらかな至仏山は余計女性的に見える。尾瀬ヶ原は雨でも充分楽しめるが、両方の山からの尾瀬ヶ原全容の俯瞰や相対する山を望むには好天



でないと難しい。果たして今回の至仏山はと云うと又しても重い曇天で何れもそれらを見るのが叶わなかった。次回は好天の日山ノ鼻から登るコースを歩こうと心に決めつつ、満員状態の鳩待峠からの往復とした。

山番号	山名 (別名) 谷川岳	登頂順	標高M
30	谷川岳	17/100	1,963
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1995.8.19 平成7年		49	
メンバー	主催 毎日新聞旅行(東京)	8/17熱海の伯母宅泊、8/18新宿、府中実家⇒夜行バスで土合へ。	
単独	複数	ガイド	ツアー
コース タイム	天神平7:00⇒9:10頂上トマノ耳・オキノ耳⇒ 11:30天神平<歩程4:30 標高差653m>		
交通手段	往路:8/17JR 8/18J R、夜行バス	現地:ゴンドラ、リフト	復路:バスで新宿迄、JR



「谷川岳」とか「一ノ倉沢」、「土合」・・・と聞くと、先ずあの暗いバックコーラスの映画『遭難』を思い起こしてしまう。高校の頃だったか学校で見た教育映画で、山の遭難の怖さを知らしむるものだったが、今にして思えば山を知らない高校生にはシリアスで逆に恐怖感だけを与えてしまった様に思う。危険なのはロッククライミングの岩場であって、一般登山の天神尾根コースは鎖場はあるものとても安全な山だった。お陰で映画の与えた呪縛から解かれた思いだった。